

第62回インナー大会
討論部門
未成立パート
テーマ趣意文一覧
(改訂版)

4

テーマ趣意文

※「テーマ趣意文（例）」に目を通していただいた上で記入をお願いいたします。

部門番号一覧は、インナー大会 HP に掲載されている「[部門番号一覧](#)」からご確認ください。

中央大学 芳賀ゼミ A パート

部門番号 13 部門名 社会保障論

テーマ 児童福祉施設における自立支援の現状と問題

サブテーマ 地域社会との接続を目指して

趣意文

現在、児童養護施設入所者は減少の一途を辿っている。一方で、20歳未満人口も減少している。すなわち、この二つの変数は対応しているため、一概に入所者が減ったとは言いがたい。また、施設を退所してもすぐに退学・離職をしてしまう者も少なからずいる。東京都福祉保健局(2015)『児童養護施設退所者の実態調査結果』を見ると、「退所後困ったこと」として人間関係や金銭管理が挙げられている。こういった問題を低減するために施設では「自立支援」を行なっている。しかし、井上寿美・笹倉千佳弘(2017)『虐待ゼロのまちの地域養護活動ー施設で暮らす子どもの「子育ての社会化」と旧沢内村』によれば、これらの支援は内集団、すなわち施設内での支援が中心となっており、外集団、すなわち施設外での支援について活発には行われていないという。内集団での支援だけでは退所後の社会との接続がスムーズにいかないことが考えられる。このことから、地域社会との接続を目指しながら、外集団の中での自立支援を行うことが重要であるだろう。

さらに、政府は児童らがより成長できるように家庭的擁護を行うべきだとして児童養護施設の小規模化を目指している。しかし、それによって施設の更なる高機能化が求められるだけでなく職員の不足、長時間労働、精神的苦痛など施設職員への負担がさらに大きくなってきている。最近、中学校の部活動を地域社会にアウトソーシングしようという動きが出てきている。これに倣って児童養護の役割を地域社会に与えることは可能か、可能ならばどのようにして可能かということについて論じる。

※「テーマ趣意文（例）」に目を通していただいた上で記入をお願いいたします。部門番号一覧は、インナー大会 HP に掲載されている「部門番号一覧」からご確認ください。

中央大学 佐藤拓也ゼミ 地方パート

部門番号 29 部門名 その他

テーマ：新しい観光による地方創生

サブテーマ：実際に行かなくても観光は成立するのか？

趣意文

自分たちのテーマ設定の背景としてはさまざまな地方の抱える問題を研究してきた中、地理、気候、交通などによって都市部との格差ができていくことがわかった。また、地方の多くは人口流出、少子高齢化などの理由から財政面で悪循環に陥っているという問題がある。これらの問題を克服するためには地域それぞれの持つ障壁にとらわれない観光手段の模索を行った。そのなかで VR をはじめとした最新技術を活用した新たな形の観光体系を提案すべきだと考えた。

問題意識としては地理的要因や気候、交通などは簡単には解決することができず、また昨今の情勢より実際に観光をすることが困難となった。国内、国外からの観光客の減少は地方経済に財政的に打撃を与えた。従来地方が抱えていた人口減少などの理由より税金などの回収が困難であるという問題がコロナ禍で顕在化したとも言える。最新技術、VR を観光に用いることの可能性を調べ時間や空間にとらわれない自由な観光スタイルを形成し柔軟なビジネスモデルを考察する。それらを踏まえて最新技術と地方財政の立て直しの相互作用について検証したい。

※「テーマ趣意文（例）」に目を通していただいた上で記入をお願いいたします。

部門番号一覧は、インナー大会 HP に掲載されている「[部門番号一覧](#)」からご確認ください。

明治大学 藤江昌嗣 ゼミ 藤江昌嗣 B パート

部門番号 21 部門名 中小企業論

テーマ 商店街の問題

サブテーマ 商店街が衰退している原因と現状を分析し、問題を解決するための手筈を考える

趣意文

商店街は高度経済成長期にかけてその数を増やしてきた。商店街は単なる小売店舗の集積販売所という役割だけでなく、地域のコミュニティの場としても重要な役割を担ってきた。しかし、1960年代の経済成長による生活パターンの変化、それによる消費者ニーズの変化によって商店街の立ち位置も変化したようだ。大衆のニーズを満たしてくれる大型スーパーやデパートといった新たなビジネスモデルが、世間に敏感な起業家によって生み出された。商店街は変化するニーズに対応することができず、現在衰退の一途を辿っている。

商店街のにぎわいを取り戻し、地域を活性化させるにはどのような政策が必要なのか、そもそも商店街を復活させる必要はあるのか、について議論していきたい。

※「テーマ趣意文（例）」に目を通していただいた上で記入をお願いいたします。

部門番号一覧は、インナー大会 HP に掲載されている「[部門番号一覧](#)」からご確認ください。

明治大学 藤江昌嗣 ゼミ A パート

部門番号 21 部門名 中小企業論

テーマ 地域中小企業が市場で生き残るために

サブテーマ会津の中堅会社社長から学ぶ経営

趣意文

大企業に比べ、資金力や人員、社会的地位など、様々な部分で工夫を強いられる中堅企業は、どのように市場のなかで役割を見いだしているのだろうか。私たちは、経営者たちの「知恵や工夫」にあると考えている。大企業には、多くの仕来りやルールが存在するが、中堅企業にはそのような仕来りやルールが少ない。そのため、「志」と、「気骨」を持った人が多く存在し、その第一人者となるのが中堅企業の運営を任されている経営者だ。「歴史・沿革」、「会社の現状」、「会社の現状の課題」、「今後の展望」の四つの観点から彼らの経営スタイルを捉え、分析することで、中堅企業経営における大切なこと、彼らが持つ志を考えていきたい。

今回は、会津若松にある地方密着型企業の4社それぞれを、上記の4つの観点から深く考えることで、それぞれの社長が持つ経営に対する考え方や具体的な戦略、経営への志を考えていく。そして、この4人の社長たちに共通する部分を抽出することで、中堅企業全体に共通する中堅企業経営について考えていきたい。